LG
Life's Good

取扱説明書

LED LCDモニター

（LEDモニター*）

このたびはLG製品をお買い求めいただきまして、誠 にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説 明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお 使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください

34WQ75C　34WQ75X

34BQ75C　34WQ73A

*LG の液晶モニターはLED バックライトを採用 した LCD 製品です。

www.lg.com

Copyright © 2022 LG Electronics Inc. All Rights Reserved.

日本語

目次

ライセンス 2

オープンソースソフトウェアのお知らせ 3

組み立てと準備 3

モニターの接続 9

ユーザー設定 12

トラブルシューティング 24

製品仕様 26

ライセンス

サポートされているライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、*www.lg.com*を参照してください。

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴ は、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

SuperSpeed USB Tridentロゴは、USB Implementers Forum, Incの登録商標です。

(34WQ75C/34BQ75C/34WQ75X)

MaxxAudioおよび追加のMAXXの商標は、Waves Audio Ltd.の商標および/または登録商標です。

オープンソースソフトウェアのお知らせ

本製品に実装されているGPL、LGPL、MPLおよびその他のオープンソースライセンスに基づく開示義務を有するソースコードの入手は *https://opensource.lge.com* / のWebサイトをご覧ください。

ソースコードと共に、該当するすべてのライセンス内容および著作権表示をダウンロードすることができます。また、弊社は有料でCD-ROMによりオープンソースコードを提供しています。料金にはCD-ROMの代金、送料、取扱手数料が含まれます。ご希望される場合は、*opensource@lge.com* まで電子メールでお問い合せください。

本サービスは、弊社が本製品を販売後3年間、本情報を受け取られたすべての方に対して有効です。

組み立てと準備

⚠ 注意

- 製品を安全に長くお使いいただくため、付属品以外のアクセサリは使用しないでください。
- 付属品以外の使用による破損や負傷は、保証の対象外になります。
- 弊社推奨品以外の汎用ケーブルを使用すると、画面が映らなかったり画像にノイズが発生する場合があります。
- 本書のイラストは一般的な手順を図解したものであり、実際の製品とは外観が異なる場合があります。
- 製品を組み立てる際、ネジに油や潤滑油などを使用しないでください。製品が故障する可能性があります。
- ネジを留めるときに過剰な力を加えると、モニターが損傷するおそれがあります。過度な締め付けによって、破損が生じた場合は保証の対象外になります。
- モニターを上下逆さにした状態でスタンドベースをつかんで持ち運ばないでください。モニターがベースから外れて落ち、けがをするおそれがあります。
- モニターを持つ場合、画面に触れないようモニターの背面を持ち、画面に傷が付かないようにしてください。

ヒント

- イラストはイメージです。実際のものとは若干異なる場合があります。
- この取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品品質向上の目的で事前の予告なしに変更されることがあります。
- 付属品以外の部品をお求めになる際は、本製品を購入した販売店またはパソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。
- 付属の電源コードは、国や地域によって異なります。

サポートされているドライバーとソフトウェア

本製品はLGエレクトロニクスが提供する、モニターをより便利に活用できるソフトウェアを使用することが出来ます。

ソフトウェアは弊社ホームページよりダウンロードしてください。

ドライバーとソフトウェア	インストールの優先順位
モニタードライバー	推奨
OnScreen Control	推奨
Dual Controller	オプション

① LGエレクトロニクスのホームページ(*www.lg.com*)にアクセスします。

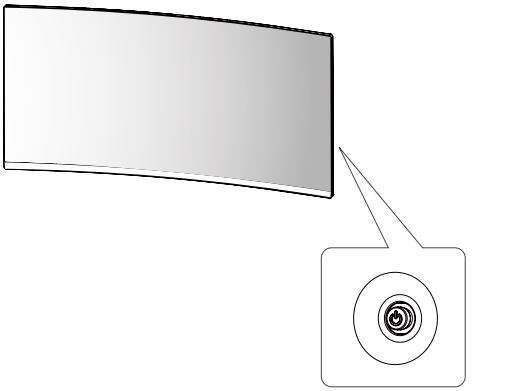
② ページ最上部の[サポート]から[ソフトウェアダウンロード]をクリックします。

③ [製品のモデル名、またはキーワードを入力してください]に、モデル番号(製品の型番)を入力します。

④ 本製品に対応するソフトウェアまたはデバイスドライバが表示されるので、使用しているOSをご確認の上、ファイルを選択してください。

※ ホームページ(*www.lg.com*)のダウンロードの手順、レイアウト、構成は変更される場合があります。

製品とボタンの説明



OSDジョイスティック

OSDジョイスティックの使用方法

OSDジョイスティックを指で押したり、上下左右に動かすことでモニターの各種機能を簡単に操作できます。

基本機能

		**電源オン**	OSDジョイスティックを指で押すと、モニターの電源がオンになります。
		**電源オフ**	OSDジョイスティックを3秒以上指で押し続けると、モニターの電源がオフになります。
	◄/►	**音量コントロール**	OSDジョイスティックを左右に動かすことで音量を調整できます。

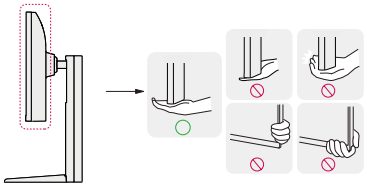
ヒント

- ジョイスティックボタンは、モニターの右側背面にあります。

モニターの持ち運び

モニターを持ち運ぶ場合は、モニターの損傷や負傷を防いで安全に運搬できるように、以下の指示に従ってください。

- モニターの梱包に使用されていた箱や梱包材に再梱包してモニターを運ぶことをおすすめします。
- モニターを持ち運ぶ前に、電源コードおよびその他すべてのケーブルを取り外してください。
- モニターのフレームの側部および下部をしっかり持ち、液晶パネル(画面)には触れないようにしてください。
- モニターを持ち運ぶ際は、液晶パネル(画面)に触れないようモニターの背面を持って、画面に傷を付けないようにしてください。
- モニターを持ち運ぶ際は、モニターに強い衝撃を与えたり、過度な振動を与えないでください。
- モニターを持ち運ぶ際は、モニターを垂直にして持ち、横にしたり左右に傾けたりしないでく ださい。



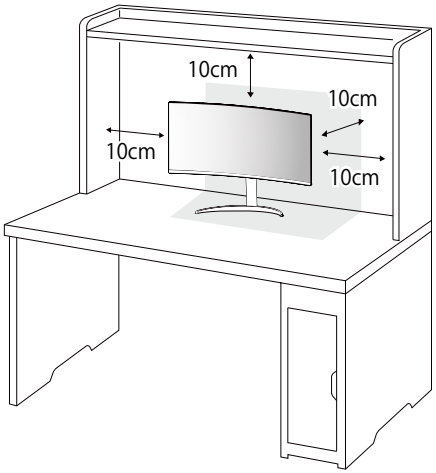


⚠ 注意

- 液晶パネル(モニターの画面)には触れないでください。
  - 画面に傷が付いたり、液晶が損傷する恐れがあります。
- モニターの底面にOSDジョイスティックがあるため、スタンドを使用しないとモニターの転倒によって、モニターの破損や負傷の原因になります。また、OSDジョイスティックが故障する原因になります。

テーブルへの設置

- モニターを持ち上げ、直立させた状態でテーブルの上に置きます。十分な通気性を確保するため、背後および周囲10cm 以上の空間を空けて設置してください。

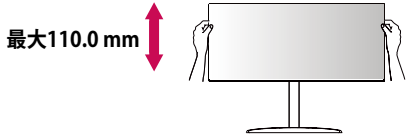


⚠ 注意

- モニターの移動や設置は、電源コードを抜いてから行ってください。感電のおそれがあります。
- 電源は、AC100V (50/60Hz) のコンセントを使用してください。指定以外の電源を使用すると火災の原因になることがあります。
- 製品付属の電源コードを使用して、アース付きコンセントに接続してください。

スタンドの高さの調整

1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。
2 モニターの左右背面側に手を添えて高さを調整します。(液晶パネルには触れないようにしてください。)



⚠ 警告

- 画面の高さを調節するときは、スタンドネックをつかまないでください。手や指をはさんで負傷をする恐れがあります。

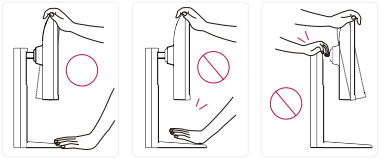
角度の調整

1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。
2 画面の角度を調整します。

画面を前後(-5°から+20°)に調整して、見やすい角度にします。

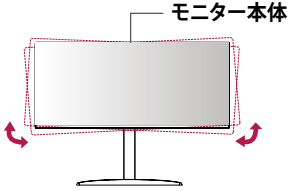
⚠ 警告

- 画面を調整するときは、下のイラストのようにモニターのフレームの下部をつかまないでください。指をはさむおそれがあります。
- モニターの傾きを調整するときに、画面の領域に触れたり、押したりしないように注意してください。



ヒント

- モニターは左右に少し(最大 3 °)傾けることができます。画面が水平になるように微調整してください。



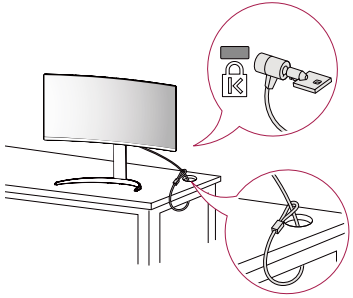
ケンジントン(Kensington)ロックの使用

ケンジントン(Kensington)セキュリティシステムのスロットはモニターの後ろにあります。

取り付けおよび使用方法については、ケンジントンロックの取扱説明書を参照するか、ケンジントン社のホームページをご覧ください。

ケンジントンセキュリティーシステムケーブルでモニターをテーブルに固定します。

ケンジントン社ホームページ: *http://www.kensington.com*



ヒント

- ケンジントンロックは別売です。お求めになる際はパソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。

壁掛け金具を取り付ける

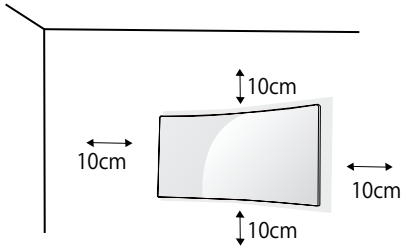
壁にモニターを取り付けるには、モニターの背面に壁掛け用金具(非同梱です。別途ご用意ください。)を取り付けます。

ヒント

- 壁掛け金具は非同梱です。別途ご用意ください。
- 詳細については、壁掛け金具付属の取扱説明書をご覧ください。また、取り付けに必要な部品は壁掛け金具に付属しています。
- 壁掛け金具に付属されたネジまたはVESA規格に適合するネジを使用してください。
- 定められた長さを超過したネジを使用すると、モニターの内部が損傷する恐れがあります。
- モニターを壁に設置する前に、スタンドの取り付け手順と逆の手順でスタンドを取り外してください。

壁への取り付け

十分な通気性を確保するため、背後および周囲10cm 以上の空間を空けて設置してください。設置に関しては、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。



モニターを壁に取り付ける場合は、壁掛け金具（非同梱です。別途ご用意ください。）をモニターの背面に取り付けます。
壁掛け金具がモニターおよび壁にしっかりと固定されていることを確認してください。

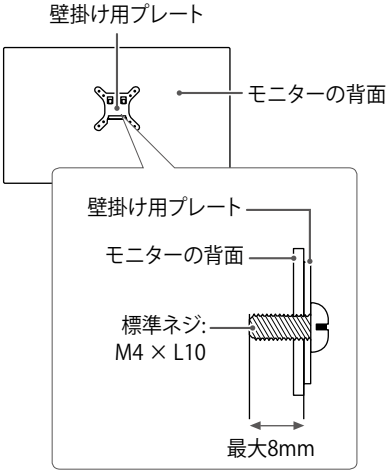
壁掛け（mm）	100 × 100
標準ネジ	M4 × L10
ネジの本数	4

ヒント

- VESA規格以外のネジを使用すると、モニターの破損や落下の原因になるおそれがあります。対象となるネジ以外を使用したことによる事故については、保証の対象外となります。
- 壁掛けに必要な部品や、マニュアルは壁掛け金具に付属されています。設置に関する詳細は、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。
- 壁掛け金具は別売です。お求めになる際はパソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。
- ネジの長さは取り付ける壁の状態や素材によ って異なります。 適切な種類と長さのネジ を使用してください。

⚠ 注意

- 移動や設置は先に電源コードと信号ケーブルを外してから行ってください。ケーブルを取り外さずに移動、設置すると落下によるモニターの破損や負傷、感電のおそれがあります。
- モニターを天井や傾斜のある壁面に取り付けると、モニターの落下によって重大な事故に繋がる恐れがあります。設置については、販売店または資格を有する業者にご相談ください。
- ネジを留める際、過度な力で締めるとモニターが破損するおそれがあります。過剰なネジの締め付けによる破損は保証の対象外になります。
- VESA規格に準拠した壁掛け金具とネジを使用してください。規格に適合しない部品の使用、取り付けの不備による製品の破損、負傷については保証の対象外になりますので、十分ご注意の上、作業してください。
- 壁掛け用のネジ穴の深さは8mmです。



モニターの接続

- 本書で使用されるイラストはイメージです。実際の製品とは若干異なる場合があります。

入力端子の切替えは、OSDジョイスティックを押してメインメニューを表示させて**[入力]**を選択して、該当する入力端子を選択します。

⚠ **注意**

- 液晶パネルに触れないでください。映像が乱れることがあります。
- 長時間同一の画像を表示させ続けると、画面に焼き付きが発生することがあります。画面の焼き付きについては保証の対象外になります。焼き付きを防止するために、OSでスクリーンセーバーを設定することをお勧めします。
- 電源コードをコンセントに接続する際は、アース付きマルチタップまたはコンセントをご使用ください。
- 本機が冷えた状態で電源を入れると、画面にちらつきが発生する場合がありますが、これは正常な動作です。通電して温度が上昇すれば、正常な状態に戻ります。
- 画面に赤、緑、または青の点が表示されることがありますが、これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。

PCへの接続

- 本機は、プラグアンドプレイに対応しています。

* プラグアンドプレイとは：PCに機器を接続するだけで、細かい設定などを行わずに使用できるようにする機能です。PCが接続機器を自動的に認識して、OSの標準ドライバーを適用します。

HDMI接続

PCからモニターにデジタル映像信号および音声信号を伝送します。

⚠ **注意**

- HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生する場合があります。
- HDMIケーブルは、HDMI Licensing Administrator, Inc.で認証されたHDMIロゴのあるものを使用してください。認証を受けていないものやハイスピードに対応していないケーブルを使用すると正常に動作しないことがあります。
- 次のHDMIケーブルのご使用を推奨します
  - ハイスピードHDMI®/™ ケーブル
  - イーサネット対応ハイスピードHDMI®/™ ケーブル

DisplayPort接続

PCからモニターにデジタル映像信号および音声信号を伝送します。

ヒント

- PCのDisplayPortのバージョンによっては、映像または音声に対応していないことがあります。
- Mini DisplayPort出力を実装したグラフィックカードまたはPCと接続する場合は、DisplayPort1.2 または 1.4-Mini DisplayPortケーブルまたは、変換コネクタを使用してください。（ケーブル、コネクタは非同梱です。別途ご用意ください。）

USB Type-C接続

PC から映像信号や音声信号、データを転送します。OSDジョイスティックを押してOSD メニューを表示して、**[入力]**から**[USB-C]**を選択します。

ヒント

- USB Type-C 端子は以下の機能がサポートされています。
  - USB PD(Power Delivery、電力供給)
  - DisplayPort Alternate Mode(映像信号入力)
  - USBデータ転送
- 接続機器の規格及び環境によって機能が対応できない可能性があります。
- USB Type-Cの電力供給機能は、接続したPCに電力を供給する機能です。モニターの電源用ではありません。モニターから電力を供給するときはAC/DCアダプターを接続する必要があります。

LAN接続 (34WQ75C,34BQ75C,34WQ75X)

LAN接続

ルーターやスイッチをモニターに接続します。

ヒント

- LANケーブルは別売りです。
- 使用できるLANケーブルの種類は以下の通りです。標準：IEEE 802.3イーサーネット。
- モニターを使用するために、LANケーブルと周辺機器を接続してください。
  - PCでイーサネットを使用するためには、USB-Cケーブルを PCに接続する必要があります。
- 有線LANを使用するには、モニターとPCがUSB-Cケーブルで接続されている必要があります。

AV機器の接続

HDMI接続

AV機器からモニターにデジタル映像信号および音声信号を伝送します。

注意

- HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生する場合があります。
- HDMIケーブルは、HDMI Licensing Administrator, Inc.で認証されたHDMIロゴのあるものを使用してください。認証を受けていないものやハイスピードに対応していないケーブルを使用すると正常に動作しないことがあります。
- 次のHDMIケーブルのご使用を推奨します
  - ハイスピードHDMI®/™ ケーブル
  - イーサネット対応ハイスピードHDMI®/™ ケーブル

周辺機器の接続

USBデバイスの接続

USBダウンストリーム端子は、USBハブとして機能します。

ヒント

- Windowsは最新のアップデートプログラムを適用してから接続することをお勧めします。
- 周辺機器は非同梱です。別途ご用意ください。
- キーボード、マウスなどのUSBデバイスをUSBダウンストリーム端子に接続できます。
- ダウンストリーム端子に接続したデバイスの充電が可能です。充電速度はUSBデバイスによって異なります。
- モニターのダウンストリーム端子を使用する場合は、PCのUSB端子とモニターのアップストリーム端子をUSB Type-Cケーブルまたは、USB Type-C-A変換ケーブルで接続してください。
- モニターのアップストリーム端子とPCのUSB Type-C端子をUSB Type-Cケーブルで接続した場合、モニターのダウンストリーム端子はUSB2.0として動作します。
- モニターのアップストリーム端子とPCのType-A端子を変換ケーブルで接続した場合、モニターのダウンストリーム端子はUSB3.0として動作します。

⚠ 注意

USBデバイス使用時の注意事項

- 自動認識プログラムがインストールされているUSBデバイスや独自のドライバーを使用するUSBデバイスの場合、デバイスが認識されないことがあります。
- 一部のUSBデバイスは、サポートされていないか、正常に動作しないことがあります。
- 電源のあるUSBハブまたはハードディスクドライブを使用することをお勧めします。(供給電力が十分でない場合、USBデバイスが正しく認識されないことがあります。)

ヘッドホンの接続

ヘッドホン端子(ミニプラグ)に、ヘッドホン、イヤホン、スピーカーなどを接続できます。

ヒント

- 周辺機器は非同梱です。別途ご用意ください。
- PC および外部機器のオーディオ設定によっては、ヘッドホンおよびスピーカーの機能が制限されることがあります。
- オーディオ用ミニプラグの形状はストレートタイプのプラグの使用をお勧めします。L字型のコネクタの場合、モニターの筐体と干渉して差しこめなかったり、他の端子をふさいでしまう場合があります。



L字型タイプ



ストレートタイプ
(推奨)

ユーザー設定

ヒント

- 実際のモニターのOSD（オンスクリーンディスプレイ）は、アップデート等により、本取扱説明書と多少異なる場合があります。

メインメニューの表示

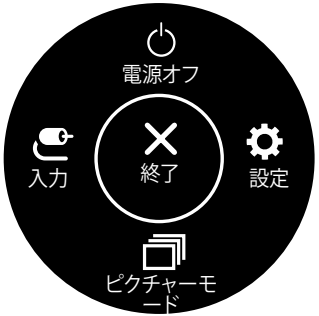


OSDジョイスティック

1 モニター右側背面のジョイスティックボタンを押してください。
2 OSDジョイスティックを前後、左/右に倒して各種設定を行います。
3 OSDジョイスティックをもう一度押すとメインメニューが終了します。

ボタン	メニューの状態		説明
	**メインメニュー非表示時**		メインメニューを表示します。
	メインメニュー表示時		メインメニュー を終了します。 (ボタンを3秒以上押し続けるとモニターがオフになります。OSDが表示、非表示いずれの際も、この方法でモニターをオフにできます。)
	◄	**メインメニュー非表示時**	内蔵スピーカーまたはヘッドホン端子に接続した音声機器の音量を調節します。
		メインメニュー表示時	**[入力]**に移動し、画面に表示する入力端子を選択します。
	►	**メインメニュー非表示時**	内蔵スピーカーまたはヘッドホン端子に接続した音声機器の音量を調節します。
		メインメニュー表示時	**[設定]**に移動し、モニターの各種設定を行います。
	▲	**メインメニュー非表示時**	現在の入力に関する情報を表示します。
		メインメニュー表示時	モニターをオフにします。
	▼	**メインメニュー非表示時**	現在の入力に関する情報を表示します。
		メインメニュー表示時	**[ピクチャーモード]**機能に移動します。

メインメニューの機能



メインメニュー	説明
入力	表示させる入力端子を選択します。
電源オフ	モニターをオフにします。
設定	モニターの各種設定メニューを表示します。
ピクチャーモード	ピクチャーモードを設定します。
終了	メインメニューを終了します。

Menu設定

1 メインメニューを見るには、モニターの右側背面にあるジョイスティックボタンを押します。
2 OSDジョイスティックを右 (►) に倒して、**[設定]**を選択すると、OSDメニューが表示されます。
3 OSDジョイスティックを前後左右に倒して、カーソルを移動させて目的の設定項目を選択します。
4 目的の設定項目上でOSDジョイスティックを押すと設定項目の表示や決定ができます。
5 メインメニューを終了させる場合は、OSDジョイスティックを左(◄)に数回(メニューの階層によります)倒します。



クイック設定 **入力** **画質** **サウンド** **全般**

(34WQ75C/34BQ75C/34WQ75X)

クイック設定

設定 > クイック設定	説明	
明るさ	画面の明るさとコントラストを調整します。	
コントラスト		
音量	内蔵スピーカーまたはヘッドホン端子に接続した外部音声出力機器の音量を調節します。	
	ヒント • 音量メニューが表示されているときにOSDジョイスティックを▼の方向へ動かすと、**[ミュート]**/**[ミュートを解除]**が設定できます。	
色温度	**ユーザー設定**	**[赤]**、**[青]**、**[緑]**で設定したお好みの画質を表示します。
	Warm[暖色]	画面の色温度を暖色系（より赤い）に設定します。
	Medium[中間]	画面の色温度を中間に設定します。
	Cool[寒色]	画面の色温度を寒色系（より青い）に設定します。
	マニュアル	ユーザーが色温度を微調整することができます。
Waves MaxxAudio® (34WQ75C/34BQ75C/ 34WQ75X)	**オン**	スタジオクオリティを実現したサウンドツール、Waves 社Maxx Audio®を有効にします。Technical GRAMMY AWARD® を受賞した高品質サウンドをお楽しみいただけます。
	オフ	**[MaxxAudio]**機能を無効にします。
ユーザー定義キー	お好みのメニューに簡単にアクセスできるように、メインメニューをカスタマイズすることができます。	
	PBP	複数の端子にデバイスを接続しているときに、2つの機器を同時に表示することができます。
	ピクチャーモード	ピクチャーモードを設定します。
	KVMスイッチ	モニターのUSBハブを使用するために、USBアップストリームケーブルの接続ポートを選択してください。

入力

設定 > 入力	説明		
入力	**入力選択**	各入力端子を選択します。選択した端子の映像を画面に出力します。	
	自動入力切替	**[オン]**に設定すると、新たにケーブルを接続したときに、自動的に新しい入力端子に切り替わります。	
		オン	[**自動入力切替**]を有効にする。
		オフ	[**自動入力切替**]を無効にする。
	アスペクト比	画面の縦横比を調整します。	
		全画面	映像信号の入力に関係なく、画面全体に表示します。
		オリジナル	映像ソースのアスペクト比を保持して画面最大に表示します。
		ヒント • 本機の推奨解像度(3440 x 1440)で表示している場合は、**[全画面]**、**[オリジナル]** を設定 していても、表示される映像は変わりません。	
	PBP		PBP機能をオフにして1つの入力を画面全体に表示します。
			PBP機能をオンにして、2つの映像ソースを左右に1:1で表示します。
	メイン/サブ画面切替	**[PBP]**モードのメイン画面とサブ画面を切り替えます。	
	メイン/サブ音声切替	**[PBP]**モードのメイン画面とサブ画面の音声を切り替えます。	
	KVMスイッチ	モニターのUSBハブを使用するために、USBアップストリームケーブルの接続ポートを選択してください。	

画質

ヒント

- 設定できる**[ピクチャーモード]**はHDR(High Dynamic Range)信号を表示している場合とSDR(Standard Dynamic Range=従来の映像)信号の映像を表示している場合で異なります。

[SDRの映像(通常の映像)表示時のピクチャモード]

設定 > 画質	説明	
ピクチャーモード	**ユーザー設定**	**[画像調整]**で設定した色合いを表示します。
	鮮やか	コントラスト、明るさ、シャープネスの値を高めます。鮮明な画質で表示します。
	HDR効果	通常の映像(SDR)をHDRに近い画質で表示します。
	ブルーライト低減モード	画面表示を紙のような質感で表示するモードです。より明るく見やすい画質にしたい場合には、OSD メニューで**[明るさ]**の調節ができます。
	シネマ	動画の閲覧に適した画質で表示します。
	FPS	FPS(First Person Shooting) ゲームに最適化されたモードです。
	RTS	RTS(Real Time Strategy) ゲームに最適化されたモードです。
	色覚調整	P型及びD型の色覚用のカラーモードです。赤色、緑色の表示を区別できるように配色されます。
	ヒント • DisplayPort接続時に**[ピクチャーモード]**を変更した際、映像が乱れたり、OSの解像度が変更されてしまう場合があります。	

[HDR信号の場合のピクチャモード]

設定 > 画質	説明	
ピクチャーモード	**ユーザー設定**	**[画像調整]**で設定した色合いを表示します。
	鮮やか	HDR の映像をより鮮やかに表示します。
	シネマ	HDR 対応映画および動画に最適化した画質で表示します。
	FPS	FPS(First Person Shooting) ゲームに最適化されたモードです。暗い映像のFPSゲームに最適化されたモードです。
	RTS	RTS(Real Time Strategy) ゲームに最適化されたモードです。
	ヒント • OS(Windows 10)の設定によっては、HDRの設定が適切に操作できないことがあります。Windows 10のHDRに関する設定のオン/オフを確認してください。 • グラフィックカードの性能によっては、モニターのHDRに関する機能が有効のときに、文字や写真の表示品質が正常に表示されない場合があります。 • グラフィックカードの性能によっては、モニターのHDRに関する機能が有効のときに、[入力]を変更したり電源をオンにした際に、画面が点滅したりちらつきが発生する場合があります。	

設定 > 画質	説明		
画像調整	明るさ	画面の明るさとコントラストを調整します。	
	コントラスト		
	シャープネス	画面のシャープネスを調整します。	
	SUPER RESOLUTION+	High	最も強いレベルで超解像をかけ、画質を最適化します。高解像度ビデオやゲームに最適です。
		Middle	**[High]** と**[Low]** の中間レベルに超解像をかけ画質を最適化します。SD画質の動画再生時などに適しています。
		Low	滑らかで自然な画像の表示用に画面を最適化します。静止画や、動きの少ない動画に最適です。
		オフ	超解像をオフにします。
		ヒント • この機能は解像度の低い映像を鮮明に表示する機能です。通常のテキストやデスクトップのアイコンなどを表示する場合、鮮明になりすぎることで、かえって見づらくなることがあります。	
	ブラックレベル	オフセットレベルを設定します（HDMIのみ）。 • オフセット：映像信号の基準として、これがモニターで表示できる最も暗い色です。	
		High	映像信号の情報をそのまま表示します。
		Low	暗い部分をより暗くして、シャープな色合いで表示されます。
	DFC	オン	明るさとコントラストを画面に合わせて自動的に調整します。
		オフ	**[DFC]**機能を無効にします。

設定 > 画質	説明		
ゲーム機能設定	応答速度	画面上での映像の移動に基づいて、表示される映像の応答速度を設定します。 標準的な環境の場合は、**[Fast]**を使用することをお勧めします。動きが多い場合は、**[Faster]**を使用することをお勧めします。 **[Faster]**に設定した場合、残像が生じることがあります。	
		Faster	液晶パネルの応答速度を高速にします。
		Fast	液晶パネルの応答速度を中程度高速にします。
		Normal	液晶パネルの応答速度をやや高速にします。
		オフ	応答速度の改善機能は使用されません。
	ブラックスタビライザー	見えづらい画面の暗い部分を明るく表示し、視認性を高めます。 高い数値に設定すると、暗い部分が見えやすくなり、低い数値に設定すると明暗の差が大きくなり鮮明な画像表示になります。	

設定 > 画質	説明		
カラー調整	ガンマ	モード 1、 モード 2、 モード 3	ガンマ値を補正します。 **[モード 1]**に設定すると中間色が明るく、**[モード 3]**に設定すると中間色が暗く表示されます。
		モード 4	ガンマ値の調整が必要ない場合は、**[モード 4]**を選択してください。
	色温度	お好みの色合いで表示することができます。	
		ユーザー設定	**[赤]**、**[青]**、**[緑]**で設定したお好みの画質を表示します。
		Warm [暖色]	画面の色温度を暖色系（より赤い）に設定します。
		Medium [中間]	画面の色温度を中間に設定します。
		Cool [寒色]	画面の色温度を寒色系（より青い）に設定します。
		マニュアル	ユーザーが色温度を微調整することができます。
	赤/緑/青	RGB 各色の強弱を手動で設定します。	
	6色相環	6色相環（赤、緑、青、シアン、マゼンタ、イエロー）の色合い、彩度を調整して、より詳細なお好みの色を設定できます。	
		色合い	各色の色相を調節します。
		彩度	各色の彩度を調整します。指定色の値を大きな数値に設定すると、その色味が強くなり、小さな数値に設定すると色味を失いグレーに近い色合いになります。
ピクチャーモード初期化	映像設定を初期化しますか？	No	リセットを行わず、メニュー選択に戻ります。
		Yes	初期設定 (工場出荷時の設定) に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。

サウンド (34WQ75C/34BQ75C/34WQ75X)

設定 > サウンド	説明	
音量	内蔵スピーカーまたはヘッドホン端子に接続した外部音声出力機器の音量を調節します。 **ヒント** • **[音量]**メニューが表示されているときにジョイスティックボタンを▼の方向へ動かすと、**[ミュート]/[ミュートを解除]**を設定できます。	
Waves MaxxAudio®	**オン**	スタジオクオリティを実現したサウンドツール、Waves 社Maxx Audio®を有効にします。Technical GRAMMY AWARD® を受賞した高品質サウンドをお楽しみいただけます。
	オフ	[MaxxAudio]機能を無効にします。

全般

設定 > 全般	説明	
言語	OSD メニューなど、画面に表示される言語を選択します。	
USB選択	モニターのUSBハブを使用するために、USBアップストリームケーブルの接続ポートを選択してください。	
SMART ENERGY SAVING	輝度補償アルゴリズムによって消費電力を抑えます。	
	High	**[SMART ENERGY SAVING]**によって、より効率的に消費電力を抑えます。
	Low	**[SMART ENERGY SAVING]**によって、消費電力を抑えます。
	オフ	機能を無効にします。
	ヒント • 省エネの数値はパネルの種類やパネルの製造メーカーによって異なる場合があります。 • **[SMART ENERGY SAVING]**の設定が有効になっている場合、映像ソースによって輝度が変化します。	
ディープスリープモード	ディープスリープモードを**[オン]**に設定すると、待機状態時の消費電力を最小限に抑えます。	
	オン	**[ディープスリープモード]**を有効にします。
	オフ	**[ディープスリープモード]**を無効にします。
	ヒント • ディープスリープモードが[モード 2]である場合、スタンバイモードではUSB HUBの機能は動作しません。	
自動スタンバイ	一定時間、表示されている映像に変化がない場合に自動的にモニターの画面をオフにする機能です。自動で画面がオフになるまでの時間を設定します。(**[8時間後]**、**[6時間後]**、**[4時間後]**、**[オフ]**)。	
入力互換性バージョン	入力互換性バージョンを、接続した外部デバイスと同じバージョンに設定します。 - DisplayPortおよびUSB-C の場合、HDR機能を使用するには1.4以上に設定してください。 - HDMI入力の場合、HDR機能を使用するには2.0以上に設定してください。	
Beep音	モニターに電源を入れた時、Beep音から生成された音を設定させる機能です。	
	オン	モニターの**[Beep音]**を有効にします。
	オフ	モニターの**[Beep音]**を無効にします。

設定 > 全般	説明	
ユーザー定義キー	お好みのメニューに簡単にアクセスできるように、メインメニューをカスタマイズすることができます。	
	PBP	複数の端子にデバイスを接続しているときに、2つの機器を同時に表示することができます。
	ピクチャーモード	ピクチャーモードを設定します。
	KVMスイッチ	モニターのUSBハブを使用するために、USBアップストリームケーブルの接続ポートを選択してください。
OSDロック	OSD の設定可能な項目を制限します。	
	オン	設定可能な項目を制限します。 **[クイック設定]**>**[明るさ]**/**[コントラスト]**/**[音量]** **[入力]**>**[入力選択]**/**[アスペクト比]** **[全般]**>**[OSDロック]**/**[表示情報]** 上記以外の項目を設定するときは、**[OSD ロック]** をオフにしてください。
	オフ	使用環境で設定可能な項目すべてを設定できます。
表示情報	次の情報が表示されます：**[電源投入時間合計]**、**[解像度]**	
初期化	設定をリセットしますか？	
	No	リセットをキャンセルします。
	Yes	初期設定 (工場出荷時の設定) に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。

トラブルシューティング

画面に何も表示されない	
画面に何も映らない	• 電源コードがコンセントに正しく接続されているかを確認してください。 • PCの電源がオンになっているか確認してください。 • PCがスリープモードになっている可能性があります。マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキーを押して、PC の省電力モードを解除させてください。
電源をオンにして、電源ランプが点灯しているのに画面が映らない	• 接続機器が黒画面を出力している可能性があります。接続機器が正常に動作しているかを確認してください。
画面に[信号が見つかりません。]と表示される。あるいは、画面が表示されない	• 信号ケーブルが接続されていないときに表示されます。PC またはモニターに正しくケーブルが接続されているかを確認してください。(本製品付属のケーブルの使用をお勧めします) • 入力が正しく選択されていない可能性があります。OSDジョイスティックを押してから左に倒して[入力]を 選択して映像が出力されている端子かを確認してください。 • 接続したグラフィックカードのHDMIまたはDisplayPortのバージョンがモニターの設定に適合しているか確認 してください。メインメニューを開き、**[設定]** > **[全般]**の順に選択します。 • HDMI接続: PCのHDMI端子がHDMI ULTRA HD Deep Colorをサポートしていない場合は、**[HDMI ULTRA HD Deep Color]**を**[オフ]**に設定します。 • DisplayPort接続: **[DisplayPortバージョン]**をPCのDisplayPortのバージョンに設定します。
画面に**[範囲超過]**と表示される	• PC(グラフィック カード)から伝送された信号が、モニターの水平周波数または垂直周波数の範囲から外れている場合、または出力されるOSの解像度がモニターより大きなサイズに設定されている場合に表示されます。 • 本書の「製品仕様」を参照して、OS上で適切な周波数または、解像度に設定してください。
画面表示が不安定で揺れている。または、モニターに表示された画像の影のような跡が残る	
画面がちらつく	• 選択した解像度がHDMI 1080i 60/50 Hz (インターレース)の場合、画面がちらつくことがあります。解像度を1080pまたは推奨解像度に変更してください。 • OS上で正しい解像度に設定してください。推奨される(最適な)解像度でない場合、文字がぼやけたり、画面がかすれて表示される場合があります。 • 設定方法は、コンピューターまたはオペレーティングシステムによって異なる場合があります。また、グラフィックカードの性能によっては、一部の解像度は利用できないことがあります。この場合は、コンピューターまたはグラフィックカードの製造会社にお問い合わせください。

モニターの電源をオフにしても残像が見える	• 静止画像を長時間表示すると、画面が損傷して残像が生じることがあります。 • モニターを長時間使用する場合は、OS でスクリーンセーバーを設定して、長時間同じ画像、映像を映さないようにしてください。
画面上に小さな点が表示される	• 液晶パネルは高精度な技術で作られており、画面の一部にドット抜け(ごく小さな黒い点や赤、青、緑などの点)が見えることがあります。これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。
一部のメニューが無効になる	
OSD で設定できない項目がある	• 現在の接続環境または表示環境に適合していない設定項目は、設定できなくなります。 • OSDロックが**[オン]**になっている場合、特定の設定ができなくなります。**[設定]**>**[全般]**>**[OSDロック]**の順に選択して、OSDロックが**[オン]**になっていないか確認してください。
「モニター認識されません。プラグアンドプレイ(VESA DDC)のモニターが見つかりました。」メッセージが表示される	
OSで正しく設定できない	• 必ず弊社のウェブサイト(*www.lg.com*)からディスプレイのドライバーをインストールしてください。 • グラフィックカードがプラグアンドプレイに対応しているか確認してください。
ヘッドホン端子から音が聞こえない	
内蔵スピーカーまたは接続した音声機器から音声が出力されない(音が聞こえない)	• ヘッドホン端子に外部音声出力機器が正しく接続されているか確認してください。 • モニターの音量の設定が[ミュート]または[0]になっていないか確認してください。 • WindowsやPCの再生ソフトウェアの音量レベルを確認してください。(OSによって設定方法が異なります)

製品仕様

カラー階調	10ビットカラーをサポートします。		
解像度	最大解像度	3440 x 1440 @ 60 Hz	
	推奨解像度	DP / USB-C / HDMI (2.0)	3440 x 1440 @ 60 Hz
		HDMI (1.4)	3440 x 1440 @ 50 Hz
電源	電源定格	AC 100 V ~ 50/60 Hz, 2.1 A	
	消費電力	オンモード：48 W 標準（出力条件）* スリープ モード (待機モード) ≦ 0.5 W (HDMI / DP入力条件) ** オフモード ≦ 0.3 W	
環境条件	動作条件	温度	0～40 ℃
		湿度	80%未満
	保管条件	温度	-20～60 ℃
		湿度	85 %未満
寸法	モニターサイズ（幅 × 高さ × 奥行）		
	スタンド装着時	816.7 x 569.7 x 260.0（mm）	
	スタンドなし	816.7 x 364.4 x 83.6（mm）	
重量（パッケージを除く）	スタンド装着時	9.4 kg	
	スタンドなし	7.5 kg	

仕様は製品の品質向上のため、予告なく変更されることがあります。
~ 記号は交流を意味します。⎓ 記号は直流を意味します。
消費電力は操作条件や設定等によって変わります。
* オンモードの電力消費は、LG Electronicsの 試験規格（最大解像度で白を画面全体に出力した状態）で測定されます。
** USB Type-C接続の場合、スリープモードにおける消費電力量は接続機器によって変わります。
** 映像が信号を受信していないときに、一定の時間が経過(最大5分)すると、モニターはスリープモードになります。

工場出荷時対応モード（プリセットモード、PC）

DisplayPort / USB-C

プリセットモード	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	極性（H/V）	備考
640 x 480	31.469	59.94	-/-	
800 x 600	37.879	60.317	+/+	
1024 x 768	48.363	60	-/-	
1920 x 1080	66.587	59.934	+/-	
1720 x 1440	88.739	59.92	+/-	
3440 x 1440	88.841	59.987	+/-	

HDMI

プリセットモード	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	極性（H/V）	備考
640 x 480	31.469	59.94	-/-	
800 x 600	37.879	60.317	+/+	
1024 x 768	48.363	60	-/-	
1920 x 1080	66.587	59.934	+/-	
1720 x 1440	88.739	59.92	+/-	
3440 x 1440	73.631	49.953	+/-	
3440 x 1440	88.841	59.987	+/-	

HDMI信号タイミング（映像）

工場出荷時対応モード（プリセットモード）	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	備考
480p	31.5	60	
720p	45.0	60	
1080p	67.5	60	
2160p	135	60	

製品のモデルと製造番号は製品の背面と側面にあります。
サービスを受ける場合に必要になりますので記入してください。

モデル _____

製造番号 _____